



# Chance for Children

公益社団法人 チャンス・フォー・チルドレン

ANNUAL REPORT

2022  
2023

年次報告書

多様な学びを  
すべての子どもに

子どもの体験格差を  
解消するための奨学金

ハロカル

はじまりました!



私は中学1年生から2年間、不登校で学校に行くのが辛い時期がありました。ですが、中学3年生の春にあるアニメを見たことがきっかけで、自動車関連の会社に勤めたいという夢を持つようになりました。そんな中、母親がチャンスフォーチルドレンという制度を見つけ、団体の塾ではなく、個別指導の塾に通うことができるようになりました。

このような支援があると知らなかったら勉強をもっと頑張らないか!とも思えなかったと思うので、私の意志まで変えてくださったことにも感謝しております。

第一志望の大学に合格できました。現在、僕は高校の世界の先生を目指しています。この目標は、実はクオンを初めて頂いた6年前とは大きく変わっています。しかしこの中高の6年間で、僕はたくさんの、本当にたくさんの素晴らしい先生方に出会うことができました。また、こうしてクオンを利用して頂くことで、学校の外でも、たくさんの学び、人に出会うことができました。

私は今までどうい出来事ばかり続いて自分の将来のことまで考えられませんでした。その上、食事とともにお金もなくなり、食べる気にもなれず他にもいろいろな生活をおろそかにしてました。それでも、毎月の電話面談でリスターの方と話しているうちに考えがまとまり、気分も明るくなりました!初めて自分の本音の悩みを打ち明けられた人でもあり、私にとっても大切な存在になりました。

私は情報系の大学に進学し、プログラマーなどの二本からの情報社会を生きていくために必要な技術や資格、経験などを自分から積極的に吸収しています。そして皆手前、東日本震災を通して経験を活かし、将来的には災害時にはばやく電気を復旧させるなどのシステムを構築したいと思っています。

寄付者の方へ、僕はもともと勉強があまり得意なわけではありませんでした。けれどクオンをいただいたことで、勉強が得意になりました。寄付してくださったみなさまありがとうございました。最初クオンをもらったとき、得意ではなかったけど得意になると思いとでもうれしかったんです。得意になると楽しいことだと思えることができました。これから、苦手を得意にしていきたいと思っております。

クオンは大学へ行く勉強を助けるために学習塾に活用していただいています。このクオンのおかげで、塾に行くことで大学へ行くと思えるようになりました。とてもうれしいと思っております。感謝の気持ちで一杯です。

# Messages from the Children

## 子どもたちの声

2022年度は皆さまからのご寄付をもとに688名の子どもたちにスタディクーポンを届けることができました。クーポンを利用した子どもたちの声をご紹介します。

小学校入学から卒業までお世話になりありがとうございました。僕は、クーポンをスイミングと進研ゼミに使っていました。スイミングでは、1級まで行ってクロールやバタフライ、背泳ぎ、平泳ぎなど色々泳げるようになりました。

中学の時友達がいなくて、自分の趣味も他人と話す機会がありませんでした。しかし、面談の方と趣味が合って面談の度に話が盛り上がり、僕の色んな話を聞いてくれて、とても助けられました。今まで家族以外でこんなにたくさん話せる人がいなかったの、本当に心の支えになってくれました。

そんな中、母が忙しい仕事の合間を縫って見つけてくれたのが、CFCのスタディクーポンでした。CFCのスタディクーポンが使えるようになり、塾に行けるということが決まった瞬間、安心感でいっぱい涙が出る思いでした。ただ金銭面的に支援していただくだけでなく、金銭面的な支援は心の安定にもつながるということが感じられる一年間でした。

僕は1人暮らしに行、2人ですけれど、そこで自分は数学と英語を習って、塾に行く前は、数学が苦手だったので、嫌いな人ですけれど、クーポンを使ってから、よく聞いて数学と英語がとくになつておもしろくなりました。

私はこの「スタディクーポン」を使い、初めて塾に通うことができました。母子家庭ということもあり、お金の余裕がなく塾や他の習い事に通うのは難しかったので、なのでこのクーポンを使い、3年塾に行かせてもらってとても助かっています。

将来の目標、夢は、自分が大人になった時に、思返してやるように世の中のために働く仕事につくことです。それが何なのかは今分かりませんが、勉強とともに見つけていきたいと思っております。

始めに、私にクーポンをくださり、ありがとうございます。現在、クーポンは、アルトサックスの教室へ通うのに使わせていただいています。以前から興味があったサックスをクーポンという機会を通じて、ふれあうことができました。日頃の応援、本当に感謝しています。

私は約6年前からクーポンを利用して、いただいたクーポンは学習塾に使用し、先生と共に、日々勉強に励んでいます。通い始めのころは、当時不登校だったということもあり、なかなか足を運ぶことができませんでした。1、2ヶ月に一度だけということも多かったです。ですが、塾の先生はとても優しく、わかりやすく教えて下さり、苦手な科目が得意になっていくにつれて塾に行く頻度も増え、勉強に対して意欲的になっていきました。

私には将来の夢があります。それはキャビンアテンダントになることです。この仕事には英語が必要不可欠です。そのため、今のうちから英語に力を入れていくことが大切だと考えています。送られたいただいたお金を大切にして、将来この夢を実現できるように頑張りたいと思います。

私は今受験生になりました。家では、なかなか勉強する気にならず勉強をすることと少しできていました。でも塾に入ってから勉強と取り組むのが少しづつですが、楽しくなりました。自分から勉強に取り組むようになる環境ができて、とても嬉しかったです。

あまり勉強が得意ではない私ですが、このクオンのおかげで塾に行くことができ、苦手を数学や英語を集中的に学べて、少しずつですが、勉強が好きになりました。音楽が大好きで、絵を描くことも大好きです。母のふろに笑顔いっぱい、保育士になることが夢です。

このクーポンを使うことができるようになったときは塾に行けると思い安心しました。上記の通りクーポンは塾に使わせていただきました。塾に行けて勉強についていけるようになったと思うとクーポンを寄付していただいたことがうれしく思いました。

じゅくに通うようになってから、勉強に対する意識が上がり、勉強する意欲が出てきました。僕は、分からない問題をそのままにするのは、とてもいやだったので、先生に聞いて、とても嬉しいです。

スタディクーポンを利用していただいている高校生です。私の家はシングルマザーなのでクーポンをいただいた時には母の負担が減るといううれしい気持ちと感謝の気持ちで一杯でした。



# 1 子どもの体験格差解消事業 新事業・子どもの体験奨学金「ハロカル」を全国に展開

「ハロカル」は、主に小学生の子どもに、スポーツや音楽、キャンプなどの体験活動に特化した奨学金(電子クーポン)を提供し、体験格差の解消を目指すCFCの新事業です。

CFCが行った調査の結果、経済困窮家庭の小学生の約3人に1人は、直近1年間、スポーツや音楽等の習い事、キャンプ、旅行などの体験機会が、全くないことがわかりました。この課題を解消するため、「みてね基金」からの助成金と、23年度に新たに募った寄付を原資に「ハロカル」を立ち上げ、全国に展開していきます。



新事業の全国展開に伴い、各地の協働団体とともに文部科学省で記者会見を行いました。



子どもの  
体験奨学金  
HELLO! CULTURE & LOCAL!

「ハロカル」には、「ハローカルチャー(文化・体験との出会い)」「ハローローカル(地域の大人との出会い)」の2つの思いが込められています。

各地のNPO等と連携し「ハロカル」を全国に広げていきます。



※上記4地域での展開に加え、広域エリアで「ハロカル アウトドア」(協力: 一般社団法人 日本アウトドアネットワーク)を展開します。

## 利用した子どもの声

※2022年度に実施したトライアル事業の利用者への事後アンケートより抜粋

せせいせいハロカルと聞いてはよかったよ、という気持ちで参加しました。

小3 / 体操・スポーツ教室

楽しい。そして心に残ったことは、自分でむすめしり曲をクリアできたことです。

小4 / ピアノ教室

友達があつた。

小4 / バasketボール教室

## CFC発足からハロカル立ち上げまでのあゆみ

- 2009年 阪神・淡路大震災をきっかけに設立された、子ども向けにキャンプなどの体験機会を提供するNPOのプロジェクトとしてCFCが発足。
- 2011年 東日本大震災を機に法人設立。「多様な学びをすべての子どもに」をミッションにスタディクーポン事業を展開。
- 2021年 法人設立10年。団体の原点に立ち返り、「体験格差」解消事業を始動。
- 2023年 約2年の準備期間を経て「ハロカル」の全国展開を開始。



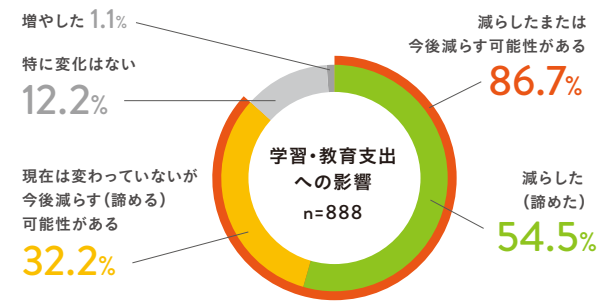
設立母体のNPO「プレーンヒューマニティ」でのキャンプ活動の様子

# 2 アンケート調査結果 経済困窮家庭への物価高騰の影響 物価高騰で子どもの学習・教育関連支出が減少

2023年2～3月にスタディクーポンの利用に応募した経済困窮家庭を対象に、物価高騰の影響に関するアンケート調査を実施しました。その結果、物価高騰による経済状況の悪化が、子どもの学習や教育に深刻な影響を及ぼしていることがわかりました。

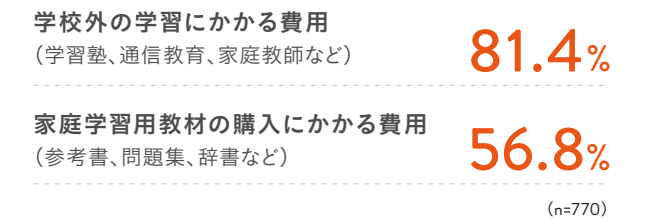
## 調査結果 ① 学習・教育支出への影響

約9割の経済困窮家庭で子どもの学習や教育に関する支出が減少傾向にあることがわかりました。



## 調査結果 ② 減らした支出の内容

学習・教育に関する支出のうち、「学校外学習費」の支出を減らした(見込み含む)家庭が約8割に上るほか、「家庭学習用教材費」についても5割以上で支出を減らす傾向が見られました。



## 保護者の声

このまま全ての物が高騰していくと思うと、私の収入で育てて行けるのかとても不安です。子ども達には夢があります。塾にも笑顔で行かせてあげたいです。心配しかありません。

宮城県 / 中3保護者

高校受験に向けての勉強の為に、せめて中学3年の間は塾に通わせてあげたいのですが、水道、光熱費の高騰、食費の高騰で思うようにお金が回らず、子供の将来を潰してしまうのでは無いかと不安です。

兵庫県 / 中3保護者

収入は変わらないのに、支出だけがが増えて非常に苦しい。夏期講習や冬期講習などに行かせてあげたいが、このままの状況だと難しい。

東京都 / 中3保護者

# 3 サポーター限定イベント CFCサポーターのつどい

4月15日に、コロナ禍以降約4年ぶりの対面実施となる「CFCサポーターのつどい」を東京都内で開催し、多くのサポーターの皆さまにお越しいただきました。



# 4 政策導入 多摩市で政策化

2023年度より、東京都多摩市でスタディクーポン事業が政策化され、CFCが事業運営を受託することが決定しました。今回の多摩市の政策化により、CFCの協働先自治体数は6自治体(2023年7月末現在)となりました。

# 2022 Reports & 2023 Plans

## 2022年度のCFCの活動実績 (2022.4-2023.3)

### 688名へスタディクーポンを提供

事業内容	経済困窮家庭の子どもへのスタディクーポン提供
対象地域	東北地域(岩手県、宮城県、福島県)、関東地域(埼玉県、千葉県、東京都、神奈川県)、関西地域(京都府、大阪府、兵庫県)※1
クーポン利用者数(学年別人数)	688名(小学生:65名、中学生等:416名、高校生:203名、高校卒業生(浪人生等):4名)
クーポン利用期間	2022年4月1日~2023年3月31日
クーポン給付額(1人当たり給付額)	1億5,505万円(小学生:15万円、中学1・2年生および高校1・2年生:20万円、中学3年生、高校3年生および中学・高校卒業生:30万円)
クーポン利用率※2	84.5%
クーポン利用先数	2,826教室
面談回数	2,207回
進路実績※3	高校進学率:98.4% 大学等進学・正規雇用就職率:88.4% 希望進路達成率※4:95.2%
審査基準	新規※5:世帯所得状況、学年 継続:世帯所得状況、当該年度のクーポン利用状況

【※1】この他、東日本大震災での被災により県外へ避難した利用者の居住地も含む。【※2】クーポン利用率は利用額/給付額。利用されなかったクーポンは次年度以降のクーポン費として充当される。【※3】アンケート及びヒアリング回答を基に算出。アンケート及びヒアリング回答率は、71.4%。【※4】希望進路達成率は、進学者および就職者によるアンケートを実施。なお、無回答者は分母に含まない。【※5】推薦制度については、指定機関(自治体・支援団体等)より推薦・紹介を受けた生活困窮者より申込を受け、先着順で利用者を決定。

## 2023年度スタディクーポン新規利用への応募状況

### 888名の中高生から応募

寄付金不足により、1,500名以上の子どもたちにクーポンを届けることができなかった昨年度の状況を踏まえ、2023年度の新規クーポン利用者募集では、募集対象を受験等でより支援の緊急度の高い中高生に限定したほか、経済的要件をより厳しくする等、応募条件を変更しました。それでもなお、261名の定員に対し、3倍以上の888名から応募が寄せられ、600名以上が落選してしまいました。物価高騰の影響も当面続くことが予想され、経済困窮家庭の家計が一層苦しくなることが懸念されます。皆さまには、引き続きのご支援をどうかお願いいたします。

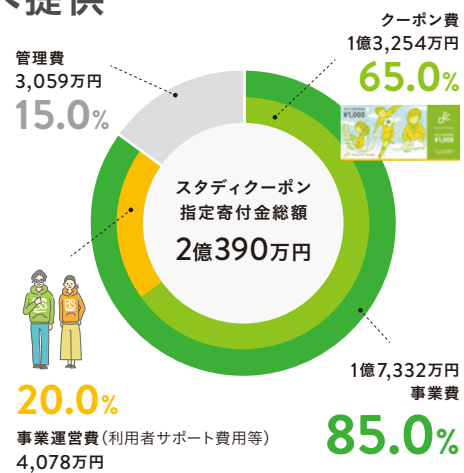
#### クーポン新規利用者数と応募者数



## 2023年度の計画 (2022年度にいただいた寄付金の使途)

### 1億6,830万円分のクーポンを700名の子どもへ提供

2022年度にいただいたスタディクーポン事業への指定寄付金・賛助会費2億390万円のうち、85.0%にあたる1億7,332万円を事業費として使用します。このうち、1億3,254万円をスタディクーポンに充当し、運営費指定寄付金のクーポン充当分等に加え、2023年度は総額1億6,830万円分のクーポンを700名の子どもたちに提供する予定です。残り4,078万円は、事業運営費として使用します。事業運営費の内訳は、クーポン利用者募集審査、利用者のサポート(コーディネーターによる相談支援、大学生ボランティア育成や定期面談)、教育事業者の募集審査、効果検証などの費用です。



- 1 寄付金の85%以上を子どもへの直接的な支援費として使用  
※65%以上をスタディクーポン費、残り20%程度を事業運営費に充当。
- 2 寄付金の15%未満を法人の管理費として使用  
※子どもたちを間接的に支えるための費用。管理を行う職員の人件費、広報費等。

スタディクーポン指定寄付金・会費使途に関するお約束

## ご支援いただいた皆さま

2022年度は延べ2,719名以上の個人の皆さま、125社の企業・団体の皆さまからご寄付をいただきました。温かいご支援、本当にありがとうございました。

### 企業・団体支援者

※スペースの関係で、一定額以上のご寄付をいただいた方のみを掲載しています。また、匿名希望者は掲載していません。※敬称略



### 助成団体



2010オリーブの木 / 株式会社インフォーマット / 株式会社栄光 / 株式会社オガノ / 株式会社協和ロープ / 株式会社公文教育研究会 / 国際ソロプチミスト東京-新宿 / 株式会社 Special Medico / 時計専門店クォーク / 豊田通商株式会社 / 株式会社バリュブックス / 株式会社BE PROUD / 株式会社富士通ラーニングメディア / 株式会社MAD Tokyo-一級建築士事務所 / 株式会社リブドゥコーポレーション

正味財産増減計算書の要旨 (2022年4月1日から2023年3月31日まで)

	科目	金額(円)
一般正味財産増減の部	1 受託事業収益	69,212,624
	2 受取入金・会費	1,740,000
	3 受取寄付金等振替額(指定正味財産からの振替額)	261,099,745
	4 雑収益	743,883
	収益計	332,796,252
	1 事業費	297,089,144
	CFCスタディクーポン事業費(自主事業)	217,067,646
	自治体等協働事業費(受託事業等)	80,021,498
	2 管理費	27,719,480
	費用計	324,808,624
	当期経常増減額	7,987,628
	法人税等	200,600
	当期一般正味財産増減額	7,787,028
	一般正味財産期首残高	18,494,885
一般正味財産期末残高	26,281,913	
指定正味財産増減の部	1 受取賛助会費	66,884,000
	2 受取寄付金	223,926,043
	3 受取補助金等	58,167,732
	4 特定資産評価損益	▲1,747,226
	5 有価証券売却益	339,587
	6 一般正味財産への振替額	▲261,099,745
	当期指定正味財産増減額	86,470,391
	指定正味財産期首残高	302,322,020
	指定正味財産期末残高	388,792,411
	正味財産期末残高	415,074,324

貸借対照表の要旨 (2023年3月31日現在)

	科目	金額(円)
資産の部	1 流動資産	74,228,904
	普通預金	42,776,758
	未収入金等	31,452,146
	2 固定資産	395,162,654
	特定資産	388,792,411
	その他固定資産	6,370,243
3 繰延資産	106,667	
資産の部合計	469,498,225	
負債の部	1 流動負債	54,423,901
	未払金等	54,423,901
負債の部合計	54,423,901	
正味財産の部	1 一般正味財産	26,281,913
	(うち当期一般正味財産増減額)	7,787,028
	2 指定正味財産	388,792,411
	(うち当期指定正味財産増減額)	86,470,391
	正味財産の部合計	415,074,324
負債及び正味財産合計	469,498,225	

貸借対照表、正味財産増減計算書(損益計算書)及び財産目録は、法令及び定款に従い、法人の財産及び損益の状況を全ての重要な点において適正に表示しているものと認めます。

監事 藤井美明 監事 保木祥史

詳細は、WEBサイトで公開している財務諸表(PDF)をご覧ください。

<https://cfc.or.jp/about/finance/>

皆さまからの温かいご支援をよろしく願いいたします

●継続的なご支援「CFCサポート会員」 毎月1,000円~のご寄付で、子どもたちを支える方法です。

●今回のご寄付 ご都合の良いときに、任意の金額をご寄付いただけます。

金融機関 三井住友銀行 亀戸支店(支店コード:254)  
 銀行口座 口座番号 普通 7862751 記号・番号 00160-6-265327  
 口座名義 公益社団法人チャンス・フォー・チルドレン 口座名義 公益社団法人チャンス・フォー・チルドレン  
 ゆうちょ銀行(郵便振替)

※クレジットカードでのご寄付は下記WEBサイトから受け付けております。 ※銀行口座へのお振込みの方で、領収書が必要な方はチャンス・フォー・チルドレン事務局までご連絡ください。

●遺言によるご寄付・相続財産からのご寄付 ご自身や故人様の大切な想いを、子どもたちの多様な学びにつなげていただけませんか。

寄付金控除について

チャンス・フォー・チルドレンへのご寄付は、所得税、相続税、法人税などの税制上の優遇措置を受けることができます。

WEBからご支援いただけます。

CFC 寄付 検索

